

週間市場レポート (2022年8月22日～8月26日)

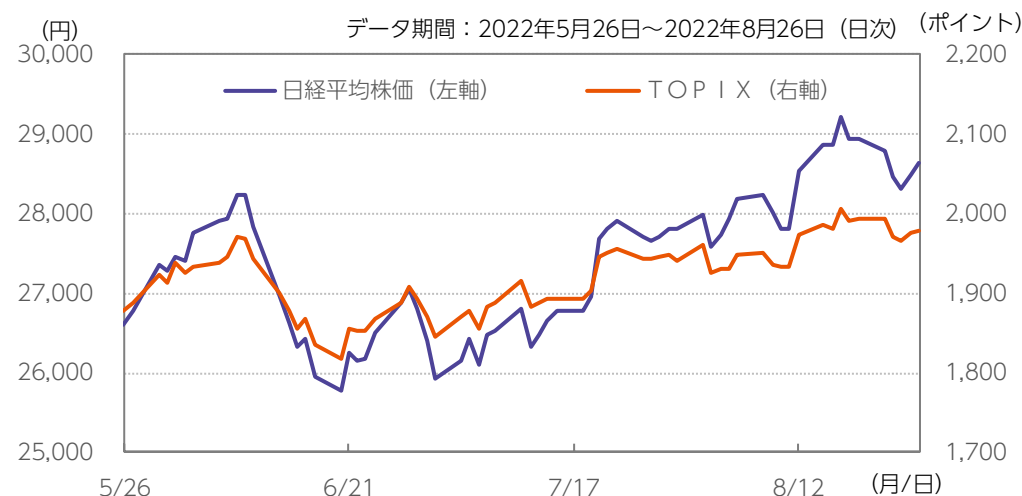
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/8/19	先週末 2022/8/26	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,930.33	28,641.38	▲ 1.00
TOPIX (東証株価指数)		1,994.52	1,979.59	▲ 0.75
ダウ工業株30種平均 (ドル)		33,706.74	32,283.40	▲ 4.22
S&P500種指数		4,228.48	4,057.66	▲ 4.04
ナスダック総合指数		12,705.21	12,141.71	▲ 4.44
ユーロ・ストックス50指数		3,730.32	3,603.68	▲ 3.39
S&P/ASX300指数		7,103.58	7,089.79	▲ 0.19
上海総合指数		3,258.08	3,236.22	▲ 0.67
MSCI AC アジア (除く日本)※		827.78	831.68	0.47
東証REIT指数		2,038.63	2,035.67	▲ 0.15
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		850.54	817.81	▲ 3.85
ASX300 REIT 指数		1,443.70	1,439.60	▲ 0.28
グローバルREIT (除く日本)※		197.01	190.18	▲ 3.47
日本10年国債 (%)		0.202	0.223	0.021
米国10年国債 (%)		2.972	3.041	0.069
ドイツ10年国債 (%)		1.230	1.390	0.160
英国10年国債 (%)		2.411	2.602	0.191
ドル/円		136.97	137.64	0.49
ユーロ/円		137.56	137.20	▲ 0.26
英ポンド/円		162.05	161.67	▲ 0.23
豪ドル/円		94.17	94.89	0.76
フィラデルフィア半導体指数		2,953.34	2,798.44	▲ 5.24
WTI原油先物 (ドル)		90.77	93.06	2.52
CRB指数		292.03	299.09	2.42

2) 日本の株式・債券市場

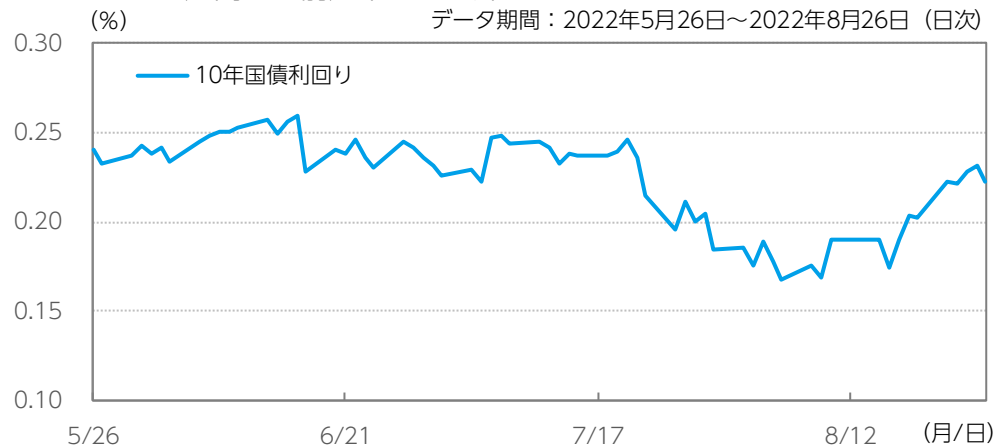
≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で下落しました。経済シンポジウム（ジャクソンホール会議）を控え、米連邦準備制度理事会（FRB）による積極的な利上げが続くとの見方が改めて意識され、前週から24日（水）まで5日続落しました。週末にかけては、5日間の下げ幅が900円超と大きく、自律反発狙いの買いが広がったことや、政府による新型コロナウイルスの水際対策の緩和で、インバウンド需要が回復するとの期待などから上昇したものの、週間では前週末比で下落となりました。



＜ 債券 ＞

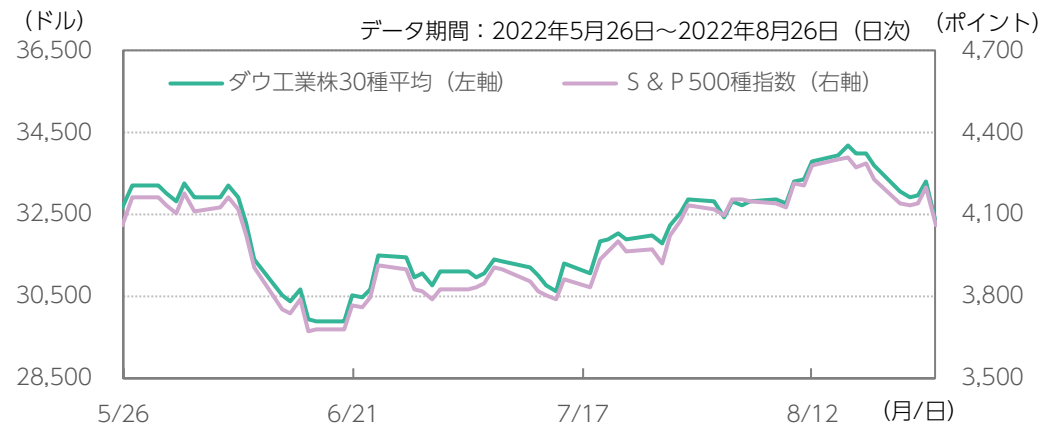
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇しました。FRBが積極的な金融引き締めを継続するとの見方や、エネルギー価格の高騰などを受け、米国でインフレが高止まりするとの見方から米長期金利が上昇した流れを受け、週初より上昇基調となりました。週末は、米長期金利の上昇がやや一服したことや、日銀による連続指値オペの実施により、利回りはやや低下したものの、週間では前週末比で上昇となりました。



3) 米国の株式市場

＜ 株式 ＞

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で大幅に下落しました。前週末に、FRB高官が9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での大幅利上げを支持する姿勢を明らかにし、ジャクソンホール会議でパウエルFRB議長もタカ派（金融引き締め推進派）的な姿勢を示すとの思惑から、不安定な値動きとなりました。ジャクソンホール会議で、パウエルFRB議長が積極的な利上げ姿勢を示すと、週末は1,000米ドルを超える大幅下落となりました。

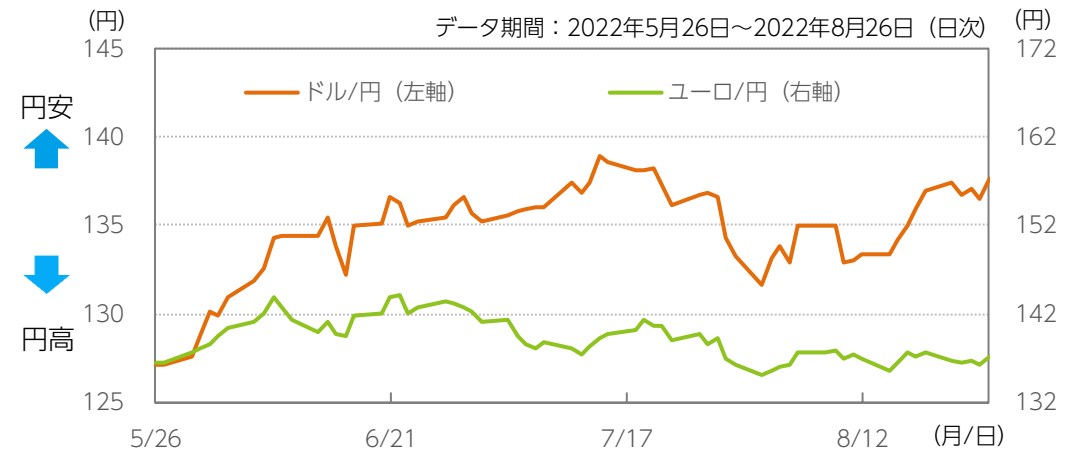


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

マーケットレポート

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週末にジャクソンホール会議を控え、持ち高調整のための円買い米ドル売りも出やすかったものの、ジャクソンホール会議のパウエルFRB議長の講演を受け、FRBが今後も積極的な金融引き締めを継続するとの見方から円売り米ドル買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、週末にジャクソンホール会議を控え、様子見ムードが広がるなか、神経質な値動きとなりました。週末の米国株式市場は、パウエルFRB議長の講演を受け大幅下落となりました。

ジャクソンホール会議の講演でパウエルFRB議長は、『家計や企業に痛みをともなっても、インフレが抑制されるまでは利上げが必要』と発言しました。今後の利上げ幅については、引き続き『利上げペースはデータや経済の見通し次第』と強調していることから、市場は利上げ幅の縮小や利上げ休止を見極めるため、インフレや労働関連の指標を中心とした経済データを注視していくものと思われます。

ジャクソンホール会議を受け、米国の利上げ継続が改めて意識されたことから、株式市場は当面、不安定な値動きとなりそうです。なお、週末に発表される8月の米雇用統計で、7月に続き米労働市場の堅調さが確認され、9月のFOMCでの大幅利上げの確信度が高まることとなれば、米国株式市場は週末に大きく下落する可能性もありそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>